



2024年4月25日

各 位

会 社 名 水道機工株式会社
代 表 者 代表取締役社長 古川 徹
(コード番号 6403)
問合せ先責任者 専務取締役 丸山 広記
(TEL 03-3426-2131)

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正並びに営業外収益および営業外費用計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月21日付「2024年3月期通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」において公表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、2024年3月期通期連結並びに個別決算におきまして、営業外収益および営業外費用を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期連結業績予想の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,000	350	350	200	46円65銭
今回発表予想 (B)	21,635	450	661	367	85円76銭
増減額 (B-A)	△1,365	+100	+311	+167	+39円10銭
増減率 (%)	△5.9%	+28.6%	+88.9%	+83.8%	—
(ご参考)前期実績(2023年3月期)	21,929	761	409	273	63円86銭

2. 連結業績予想の修正理由

(1) 売上高及び営業利益

当社グループの上下水道事業において、年度末における工事出来高検収が予想と比べ減少したことから売上高が216億35百万円と13億65百万円減少の見込みとなりました。一方で、収益計上の対象となった請負工事の採算が改善したことから、営業利益が4億50百万円と1億円増加の見込みとなりました。

(2) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

保有する外貨建て社債の時価評価並びに持分法適用に伴う負債の減少の影響により為替差益が発生したことから経常利益が6億61百万円と3億11百万円増加の見込みとなりました。関連する営業外収益並びに営業外費用の詳細につきましては、「3. 営業外収益および営業外費用の計上について」の通りとなります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の営業利益、経常利益の変動等により3億67百万円と1億67百万円増加の見込みとなりました。

3. 営業外収益および営業外費用の計上について

(1) 個別決算

持分法適用関連会社である Suido Kiko Middle East 社（以下、SKME 社）業績の影響について

当社持分法適用関連会社である SKME 社におきまして、当社は前事業年度末（2023 年 3 月期）までに同社への債務保証の状況から SKME 社の債務超過額に対して債務保証損失引当金を 100% 当社負担として計上しております。

当社と現地パートナーは、契約済み工事の完成を目的として、出資比率に見合った資金支援を行うことを合意し、2023 年度から段階的に SKME 社への貸付を実行しております。この実行に基づき、当事業年度（2024 年 3 月期）において実行された現地パートナーの出資比率 51% 相当の資金支援を考慮した上で、当事業年度末（2024 年 3 月期末）時点における SKME 社の債務超過額に対する債務保証損失引当金を見積もった結果、営業外収益として債務保証損失引当金戻入益 6 億 12 百万円を計上することとなりました。また、当社は、当事業年度（2024 年 3 月期）において出資比率である 49% 分の貸付を実行しており、併せて営業外費用として貸倒引当金繰入額 6 億 45 百万円を計上することとなりました。

上記の状況並びにその他の営業外収益および営業外費用の発生を考慮し、2024 年 3 月期個別決算におきましては、経常利益が 3 億 98 百万円（前年同期は▲27 百万円）、当期純利益が 37 百万円（前年同期は 3 百万円）となる見込みです。

(2) 連結決算

① 為替差益の発生について

当社は、外貨建て債権、債務に対する為替変動リスクをヘッジする目的で、外貨建て社債を保有しておりこの為替変動の影響並びに持分法適用に伴う負債の減少の影響等により 2024 年 3 月期連結決算において為替差益 1 億 71 百万円を計上することとなりました。

② 持分法適用関連会社である SKME 社業績の影響について

前項に記載の通り、個別決算では営業外収益並びに営業外費用が発生いたしますが、2024 年 3 月期連結決算におきましては、個別決算で計上された債務保証損失引当金戻入益と貸倒引当金繰入額を相殺の上、営業外費用として持分法による投資損失 33 百万円を計上することとなりました。

上記の状況並びにその他の営業外収益および営業外費用の発生を考慮し、2024 年 3 月期連結決算におきまして、経常利益は 6 億 61 百万円と前期比で 2 億 52 百万円の増加となり、親会社株主に帰属する当期純利益は 3 億 67 百万円と前期比で 94 百万円の増加となる見込みです。なお、業績予想に対する増減内容は、「1. 2024 年 3 月期連結業績予想の修正」並びに「2. 連結業績予想の修正理由」に記載の通りとなります。

以上